

民間教育最高功労賞



田原学園グループ代表  
全国学習塾協同組合理事

田原サヨ子先生

民間教育最高功労賞



創研塾会長

奥松良榮先生

授賞式 記念講演会 祝賀会

日本民間教育大賞



日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は  
下記 URL または QR コードから  
ご覧いただけます。  
<https://youtu.be/siyxyFxnVGg>  
●映像協力 ●  
(株)フレックス design office[ moov ]

日本民間教育大賞 総合司会  
(株)ヒューマレッジ  
木村吉宏 代表取締役



(一社)日本青少年育成協会  
増澤空 会長

全国学習塾協同組合  
森貞孝 理事長



記念講演の講師を務めた  
(株)早稲田アカデミー  
山本豊 代表取締役社長

7月20日(水)、東京・神田の学士会館において、「日本民間教育大賞授賞式・記念講演会・祝賀会」が盛大に開催された。今年もまた新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の入場者数は制限され、一部の民間教育関係者はオンラインでの参加となった。

日本民間教育大賞は、満75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。本年度は、2021年12月から2022年4月までの間公募を行い、推薦された方々を対象に選定会議において厳正な審査を行った結果、民間教育最高功労賞に4名、民間教育特別功労賞に1名が選出された。



記念講演会では、株式会社早稲田アカデミー 代表取締役社長の山本豊氏が「早稲田アカデミーのCXとDX」をテーマに講演を行った。

授賞式では、最初にこの1年間にお亡くなりになった民間教育関係者の御貢献に感謝するとともに御冥福を祈って1分間の黙祷が行われ、日本民間教育大賞選定会議の構成団体、4名の民間教育最高功労賞と1名の民間教育特別功労賞受賞者が紹介された。そして全国学習塾協



同組合理事長の森貞孝氏が「この日本民間教育大賞の内容をますます充実させ、社会に貢献する立派な方々が次々と育ってきたことを広く社会に広めていきたいと思います。本日は受賞された方々、本当におめでとうございます」と、開会の辞を述べた。その後祝電とメッセージが披露された。顧問の衆議院議員 下村博文氏(元文科大臣)は急遽体調を崩したため出席できないとの連絡が入り、同じく顧問の元参議院議員 大島九州男氏は長期出張のためお越しになれず、メッセージが届けられた。

民間教育最高功労賞は、創研塾会長 奥松良榮先生、田原学園グループ代表 田原サヨ子先生、厚木ゼミナール塾長 西畑正夫先生、(株)ベネッセホールディングス名誉顧問 福武總一郎先生、民間教育特別功労賞は、(株)増進会ホールディングス前相談役 藤井史昭先生が受賞。会場にお越しになれなかった奥松良榮先生は奥様の千恵子様、西畑正夫先生は御息女の妙子様、福武總一郎先生は同社取締役の山河健二氏がそれぞれ代理として出席した。故人の藤井史昭先生の代役は御息の藤井孝昭 同社代表取締役社長。受賞者には、私塾協同組合連合会理事長 坂田義勝氏から表彰状が、民間教育連盟会長 森本一氏代理の榎本吉郎氏から楯が贈呈された。受賞者はその後、お一人ずつ受賞のご感想を述べられた。

閉会の辞を述べたのは、(一社)日本青少年育成協会会長 増澤空氏。「塾業界とは、雑木林的な組織だと思っています。杉林だけの山、松林だけの山は洪水になるとどろどろと木が崩れて流されていってしまいます。様々な木が混ざって絡み合い、だからこそしっかりしている雑木林のような組織が塾業界です。自分たちの分野をしっかり根付かせて運営していき、やり遂げることが重要です。結果的にお互いがカバーし合います。そんな塾業界の今後のあり方を我々は大切にしていきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました」

祝賀会では、民間教育関係者が受賞された先生方にお祝いの詞を述べ、情報交換や名刺交換などを行った。



日本民間教育大賞選定会議  
(構成団体・団体名50音順)

- ・一般社団法人 日本青少年育成協会
- ・学習塾公開企業協議会
- ・公益社団法人 全国学習塾協会
- ・私塾協同組合連合会
- ・全国学習塾協同組合
- ・全日本私塾教育ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 学習塾全国連合協議会
- ・特定非営利活動法人 全国教育ボランティアの会
- ・民間教育連盟

顧問 下村博文 衆議院議員  
顧問 大島九州男 元参議院議員



●略歴  
1947年和歌山県生まれ。75年、和歌山市に「田原塾(現・アーク進学ゼミ)」を創立。89年、学校法人アークヒジンスカレッジを設立。2005年、通信制(現・広域通信制)田原学園慶風高等学校を設立、校長就任。和歌山市生涯学習推進協議会委員、和歌山市行政改革推進懇話会委員、和歌山県生涯学習推進会議専門委員会委員などを歴任



●略歴  
1947年3月宮崎県生まれ。71年、「創研塾」を創立。90年、本部を東京都青梅市に移転。76年、学習塾全国連合協議会(塾全協)設立に関わり、のち、第4代理事長、第6代会長に就任。88年、一般社団法人全国学習塾協会(現・公益社団法人)設立に参画し、副会長に就任。子どもたちと接することが生きがいで現在も高校受験生を指導。

●授賞理由  
和歌山県を中心とする地域一帯の民間教育事業の発展に寄与した功績

●受賞のご感想  
こんなに素敵な賞をいただきまして、本当にありがとうございます。私には、子どもたちに愛情を持って教育することを心がけております。

和歌山県は本当に子どもが減りまして、公立高校の入試倍率が0・82くらいです。定員よりも受験生が少なくなっています。しかしこ

んなことを言ってもしょうがないですから、何が何でも和歌山で頑張らなくてはなりません。和歌山が元気になることは日本が元気になることでもあると思います



しかし、皆さま方の応援に支えられてここまで来られたことを心から感謝申し上げます。皆さま、本当にありがとうございました。

●授賞理由  
東京都を中心とした地域の民間教育の発展に寄与するとともに全国の民間教育事業者の交流に寄与した功績

●受賞のご感想  
奥松良榮先生の奥様である千恵子様代理で賞を受賞し、感想を述べた。

本日はこんなに立派な賞を主人が頂戴いたしました。本当にありがとうございます。私たちが塾は東京の青梅市という西のほうにあり、小さい塾です。50年前に夫婦で始めて、今日に至っております。今は長男が引き継いで塾を運営してくれています。

主人は10年ほど前から足を悪くし、家の中は歩けてもほとんど外出できない状態です。週に1回、2時間ほど中学3年生に国語をいまだに教えていますが、教えることが、教えることが



列できないことをお許しください。今日は本当にありがとうございました。





日本民間教育大賞

民間教育最高功労賞 奥松良榮殿

あなたは多年にわたり民間教育の発展に尽力されました。その功績は特に顕著であり後進の範たるにふさわしいものであります。よって本賞を贈り長年の功を讃え表彰致します。

2022年7月20日

日本民間教育大賞選定会議

- 委員 安藤 大作 公益社団法人全国学習塾協会
坂田 義博 私立塾協同組合連合会
佐藤 勇治 特定非営利活動法人全国教育ボランティアの会
菅 博之 学習塾公開企業協議会
仲野 和典 全日本私塾教育ネットワーク
増澤 空 一般社団法人日本青少年育成協会
森 貞孝 全国学習塾協同組合
森 本 一 民間教育連盟
山下 典男 特定非営利活動法人学習塾全国連合協議会
顧問 下村 博文 衆議院議員
大島 元州 参議院議員



民間教育特別功労賞

藤井史昭先生

株式会社増進会ホールディングス 前相談役



略歴 1939年静岡県生まれ。創業者である故藤井豊氏より増進会出版社(現・増進会ホールディングス)を引き継ぎ、75年から2005年3月まで同社代表取締役社長を務める。通信教育を始め出版・教室・模試などを確立。大岡信文化講演会、「若山牧水全集」、「子規選集」などの文化事業も展開。20年1月没。



民間教育最高功労賞

福武總一郎先生

株式会社ヘネッセホールディングス 名誉顧問 公益財団法人福武財団 理事長



略歴 1945年岡山県生まれ。73年、(株)福武書店(現・ヘネッセホールディングス)入社。86年、代表取締役社長に就任。入社以来一貫して、模試事業、通信教育事業、海外での教育出版事業、英語検定(GTEC)事業、塾事業等を推進。また88年、直島文化村構想を発表。香川県・直島を自然とアートで活性化するプロジェクトを二十数年にわたって指揮。



民間教育最高功労賞

西畑正夫先生

厚木ゼミナール 塾長 実験工房あき所長



略歴 1939年福井県生まれ。65年、神奈川県厚木市で「厚木ゼミナール」創立。74年、全国私塾連盟に加盟のち神奈川県支部長を務める。99年、NPO全国教育ボランティアの会の設立に参加、理事に就任。全国で親子の集いを催し、手作りキットで作る4次魔方陣(数を2つの要素に分ける発想で特許取得)や天体望遠鏡作り等指導を担当。

授賞理由 通信教育や教室事業等々の教育事業を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績



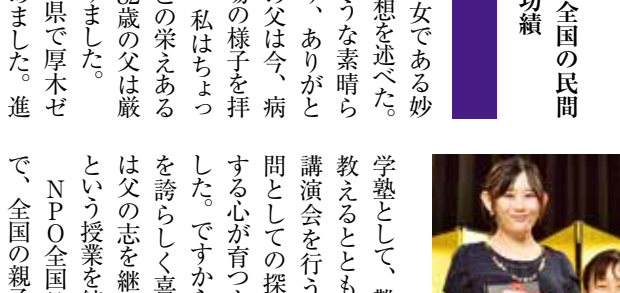
受賞のご感想 (藤井史昭先生の御子息で増進会ホールディングス代表取締役社長) このたびは特別功労賞という大変素晴らしい賞を賜りまして、本当にありがとうございます。私たちがZ会グループは、昨年の秋に創業90周年を迎えました。Z会グループと申し上げますと、通信教育の印象が強いのではないかと存じますが、一番の事業規模を誇るセグメントは塾・教室の事業です。教室事業につ

授賞理由 通信教育や模試事業等々の教育事業を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績



受賞のご感想 福武總一郎先生の代理として山河健二「同社取締役が受賞した。」「本日は栄えある賞を賜り、恐縮に堪えません。本来であれば福武本人が授賞式に参加させていただくところですが、現在ニュージーランドに住み、このコロナ禍で帰国が適いません。心からお詫び申し上げます」と述べ、福武先生からお預かりしたスピーチの原稿を読み上げた。「このような大変名誉ある賞をいただきまして、誠にありがとうございます。弊社が父親であり創業社長である福武哲彦が、もともと教師だったことから受験教育に関する事業を行い、歩んでまいりました。その創業社長から経営を引き継いだのは1986年です。社長就任後、教育事業を中心としながらも、介護、語学、出版分野への事業の多角化、海外への教育事業展開を進め、さらに乳幼児、小中高生、大学生、社会人、シニア層に至るまで、人の一生に寄り添う事業を国内外で展開してまいりました。全ての事業の根底には、創業以来変わらない弊社のDNAと企業理念である人を軸にするとい

授賞理由 西畑正夫先生の御息女である妙子様が代理で受賞し、感想を述べた。「このたび、父にこのような素晴らしい賞を贈っていただき、ありがとうございます。闘病中の父は今、病室からオンラインで会場の様子を拝見していると思うので、私はちょっと緊張しております。この栄えある賞がとても嬉しくて、82歳の父は厳しい治療を続けてまいりました。父は57年前、神奈川県厚木ゼミナールという塾を始めました。進



学塾として、難関校合格への勉強を教えるとともに、理科実験や科学講演会を行うなど、生徒さんに学問としての探究心が芽生え、科学する心が育つように続けてまいりました。ですから、卒業生たちの活躍を誇らしく喜んでおります。現在は父の志を継ぎ、職員で「探究科」という授業を続けております。NPO全国教育ボランティアの会で、全国の親子の皆さまと4次魔方陣などを作ったことがとても楽しい思い出と父は語っています。佐藤先生、坂田先生などたくさんの方々には心より感謝申し上げます。本日は父に素晴らしい賞を賜り、ありがとうございます。」

